

北海之光

11月号 北海道教区報

主にあってはあなたがたの
労苦がむだになることはない
コリントI 15章58節

発行所 北海の光社
001-0015 札幌市北区北15条西5丁目1-12

日本聖公会北海道教区事務所

電話 011-717-8181

FAX 011-736-8377

E-mail:hikari@nssk-hokkaido.jp

http://www.nssk-hokkaido.jp

発行人 植松 誠

もだす、我

釧路聖パウロ教会牧師

司祭 グレゴリー 松井新世

「待っていましたよ」。連絡してはなかったのに、駅に車を付けて待っていたのは、Y神父さん。彼は私が初めて来た時から修道院への送迎をしてくれている。理由を尋ねると「私達の修道院の規則の中にお客様はキリスト様として迎え入れなさいとありますので」と答えられたことを思い出す。

登り始めたが、今までの道が見当たらない。藪が手を広げ、行く手を遮っている。構わず突き進むと、案の定転倒し、元の既に取り入れが終わった牧草地に引き返す。

ここでは、日ごとに秋が深まりゆくのが、私には追い付けない速さで感じられる。普段いる場所と違って、早起きの習慣がついてしまった。早朝の鐘の音に身が引き締まる。

修道院裏手の墓地はちょっとしたお気に入り。お墓を覗き回ると「平安」が最も多く、次が「わたしは静かに神を待つ」詩編六二編だった。好きな詩編だ。でも、口語訳の「わが魂はもだしてただ神を待つ」の方が好みである。

某日朝、霧雨であったが外に出た。「クマに気を付けて下さいね」老神父さんの声が後方から聞こえる。もちろん視界不良のこともあり、ある種の覚悟は伴う。少し山道を

「神の言葉の前における沈黙は一日の全体に影響を与える。もしも言葉の前に沈黙することを正しく学ばなら、我々は一日の歩みの中で沈黙

すること、語ることを正しくやり繰りすることを学ぶであろう」(ボンヘッファー著『主のよき力に守られて』)

某日、初日と同じ道を歩むが、帰りの道を変えてみる。近道だと思ったのだが、いつの間にかその道は舗装されていて、かえって道の選択肢が増え、逆方向に迷ってしまう。スマホに道を聞きながら元の道に戻る我に思わず笑う。

毎回修道院でのリトリートには、同伴者がいることが多い。同伴者と言っても、一緒に食事をし、おかずの一品として互いの話を聞き合う程度。部屋は一人部屋で、黙想も各自、毎日七回の祈りの時に声を合わせるだけ。各々の領分は犯さないのが暗黙の了解。様々な背景をもって来られる方もいるので。ここで向き合うのは「我と汝」のみ。修道会などの団体でも一人の旅人とでもそれは変わらない。

しかしこの度は違った。今回四人目の同伴者から声をかけられた。聞くと二〇年前に同伴者であったIさん、福岡

でカトリック教会に通う彼とは毎年賀状を細々と交わしていた。しかし再会できるとは全く考えていなかっただけに、互いに驚く。黙想を忘れるほどに。そこには楽しい神父さんのうわさ話の類もあるが、イエスの臨在をも分かち合う素敵な時だった。あの時「わたしたちの心は燃えていたではないか」(ルカ二四・三二)エマオの旅人の出来事を追体験した。

帰路に着く時、老神父さんが私を呼び止め、もそもそと売店で買った物を、下を向いて差し出した。その手元にある財布はその手のように小さく縮れたもので、心が震えてしまった。

杉の木を時折仰ぎつつ「エマオの旅人の絵にも大きな木々が生い茂っていたな」と思い出す。アン曰く「金銀を見つけたような」(モンゴメリ『赤毛のアン』)体験をしたなと沈吟する。ズボンから離れないイノコツチ旅の証として家路に着く。

小さな、小さな出会いを続けていきたい。祈



どうしてヨハネ教会を選んだの。選んだわけではなく、水が流れるように、教会に、行き着きました。それは、今思うと、神さまの導きであつたと思うのです。二四年前、家族三人で、荷物はリュックだけ、列車の旅をしました。

—心の窓をひらひら—

福音と私(二二三)

—今、なぜ、私はキリスト者として生きるのか—

函館聖ヨハネ教会信徒

クレメンティア 佐藤 恭子

好きな聖句

「あなたがたが、わたしを選んだのではない。わたしが、あなたがたを選んだ」

ヨハネによる福音書

第一章一六節

遠軽の町に着き、小さな教会を見付けました。中に入ってみると、誰もいません。でも確かに、誰かいるような暖かい空気を感じたのです。神さまが、いらっしやると直感しました。窓から見える庭の眩しきは平和の光そのものでした。その時、初めて神さまの存在を信じたことができ、信じたいと胸がときめきました。あれから月日は経ちましたが、もう一度小さな教会を訪ねてみたいと思つています。そのあとに行つた教会では、牧師さんご夫妻の縁と、お力添えもあり、私たちの子連れ結婚式を上げることになりました。決まっていたかのようなスピード。今考えてみても、不思議に思えてなりません。

この頃の私は、体調の悪さもあつて「大丈夫、大丈夫」と心の中で唱えながら、生活



を送っていたように思いますが、教会生活の短い私たちですが、教会の皆様のおかげで、何とか一年間の行事のお手伝いをさせて頂きました。が、まだまだ言われた事をするのが、精一杯。そして今年九月二二日、秋の大イベント、教会バザーが行われました。当日は天候も快晴、最高のバザー日和、多くの来場者に恵まれ感謝でした。庭の芝生も一緒に活躍。ヨハネ教会は、観光客も多くてオープン・チャーチの時などは、大変な賑わいです。一月一〇日は、収穫感謝、子ども祝福式、聖餐式、主教様巡錫日、植松誠主教さまをお迎えする大切な日となっております。夫と私は昨年一月二三日、洗礼式。今年三月一七日堅信式を拝領し、日ごとに信仰生活を歩んでいることを、夫は喜び、私は心の支えとなつて日々の暮らしが一変しました。信徒の心得①日々の聖書を読む。②日々、祈りと賛美をする。③教会の礼拝に努めて出席する。④献金と奉仕を喜んで捧げる。⑤人々にイエス・キリストを証しする。毎日が信仰

です。無駄の多い生活は、何気無い節約の中で幸せを感じたり、自然の恵みに感謝したり、ささげる心、報恩のよこび、これが先決となり、お捧げする心の尊さを、この生き方を毎日つみあげることが、神のよろこびとなるように、この一本道を、夫と二人で進みます。住み心地よくする道、自分の心のあり方を変えて、自分の感じ方、考え方、受けとり方を変える。それで人生をたのしく生きる道が、希望となるように、限らないよろこびがわいて来ますように願うばかりです。若いまま亡くなった兄のことが、今だに悲しみをかかえている自分の狭い世界を心広い世界に変えたい。そのためには、私自身がつねに明るい心、機嫌の良い人になろう。よろこびと感謝を出しきる努力を家族でつづけようと思つています。私の信仰心は、亡き母から受けつがれたように思います。私を除いて家族全員樺太の引き揚げ者でした。樺太では何と聞かして生活をしていても欠かすことなく、お参り

に行つてた話も聞かされてきました。父は国鉄員だったので、夜勤もあつたり、家にいる時は、ご近所の子どもにお習字の、手解きをしていたそうです。いつも狭いわが家で姉兄のお友達の笑い声でいっぱいだった記憶を思い出して、なつかしさが込みあげます。そんな父も私が七才の時他界しました。昭和二九年の台風一五号、洞爺丸沈没、私が六才の頃、父は夜勤で家には、なぜか母と私だけでした。外は雨風で窓もガタガタと鳴りひびき、古い官舎は台風に耐えていたと思います。母は正座をして両手を合わせ、「神さま助けて下さい。神さま助けて下さい」と祈っていました。私も母の横に座り、両手を合わせて「神さま助けて下さい」とまねをして祈りました。心を込めての祈りは、神に聞かれるのだと思います。それは亡き母と過ごした幼い時の出来事があるからです。信徒としては、短い生活ですが皆様の祈り、神さまのお支えを信じて、これからの日々を送りたいと願つております。

常置委員会報告 第二回 一〇月二八日

《協議事項》

一、台風一九号・その他の豪雨被害の対応について
 ・今のところ教区としての募金やボランティアの募集は行

わない。各教会、個人での対応・支援に留め、義捐金は直接管区に送金していただく。
 二、教区会提出議案の件
 ・常置委員会として提出する議案の再確認を行った。
 三、教区会聖餐式信施奉献先の件

・台風、豪雨により被災した教会のため奉獻する。
 四、財政部長交代の件
 ・松原財政部長の退任を了承し、後任は一二月の常置委員会で選任する。
 五、植松主教海外出張の件
 ・二月二二日行われる台湾教

区主教の按手式に首座主教として出席することを承認した。
 六、植松主教出張の件
 ・一月二六日、大阪教区に出張することを承認した。

稚園の件

・現況報告を聞き、今後も継続して審議していく。
 八、教区会の講師の謝礼について

・前例通り支出することを承認した。

十 教区逝去教役者 記念聖餐式

二月二一日(水)

午前一〇時三〇分
於 主教座聖堂

次の方々を覚えて祈ります。

司 祭 岡村 国 夫

一九五四年二月一日

司 祭 N・D・スミス

一九八四年二月四日

司 祭 ウォルター・デニング

一九一三年二月五日

司 祭 W・D・エディ

一九八九年二月五日

司 祭 木村 光 二

一九七九年二月九日

伝道師 北野 幸太郎

一九五七年二月一日

伝道師 津田 四郎平

一九一三年二月一日

司 祭 大井 浅 吉

一九二五年二月二〇日

執 事 前川 修

一九四八年二月二三日

伝道師 永久保 秀二郎

一九二四年二月二四日

司 祭 荒木 蕃 三

一九四八年二月二四日

司 祭 大矢 敬 香

一九四二年二月三〇日



主教室より

「このジャガイモ、あんこ入ってる・・・」と、妻が言いました。えっ? あんこ? 何のことを言っているのか? 何のことに分りません。この「主教室より」で、何度か北海道弁の話を書いたことがあります。北海道弁が、未だに私の知らない北海道弁がありました。

「ジャガイモのあんこ」というのは、どうも、大きく育ちすぎたジャガイモの真ん中が黒くなっていることを意味するようです。種イモなど特に大きいジャガイモにそうなっていることがあり、「こちらの言葉で「あんこが入っている」と言うようです。誰でも、ジャガイモの中が黒くなっていた

ら、勿論そこは食べられないし、そのまま捨ててしまう人も多いことでしょう。お金を出して買ったのに・・・という思いを持つこともあるでしょう。でもこちらの人は「あっ、あんこ入ってる」と言っていて、その部分だけを除いて、ほかの黒くなっているところは大事に料理するのです。その言葉の温かさにしばし感心させられました。

また、「このジャガイモ、中が黒くなっている!」と言うのと、「あっ、あんこ入っている」と言うのでは、そのジャガイモに向き合う私たちの気持ちは明らかに違ってきます。私たち一人ひとりをジャガイモに例えたとしたら、「インカの目覚め」のように、美しい濃

い黄色をしていたり、ほくほくとおいしかったり、煮崩れしないしっかりしたメークインだったり、味の良い男爵だったり・・・。そして、そう、中が真っ黒な困ったジャガイモだったり。でも、「わあ、何だ、このジャガイモは?」とは言わず、「あらあら、あんこが入っていて・・・」と、ていねいにそこを取っておいしく食べてもらえるとなるとどうでしょう。

私自身、きつと、その真っ黒なところをいつも拭き取ってくださるお方がいらして、大事に用いてくださっているのだなあ・・・と、まな板の上の「あんこ」の入ったジャガイモを眺めました。

主教 ナタナエル 植松 誠

管区事務所編集 聖公会手帳 2020

- ・日記と年鑑を兼ねた便利性!
- ・教会暦・日課表を完全収録!
- ・教会・伝道所と関連施設が、直ぐわかる
- ・紙質を軽量化して使いやすさを追求!

○大型判 2,200円 / 通常判 1,200円 (税込)

申し込みは聖公書店 (Tel 04-2900-2771)、またはお近くの書店まで。

二〇一九年北海道教区修養会実施報告

宣教活動推進部長

ダニエル 尾 関 敏 明

一〇月二三日(日)一八・三〇〜一四日(月、休)一三・三〇札幌キリスト教会を会場として開催されました。近年最大級と言われる台風一九号が、関西、東海、関東、東北など広範囲で猛威をふるい、各地に甚大な被害をもたらしました。北海道東部太平洋沖に温帯性低気圧となつて消えていった直後の修養会となりました。台風による交通の乱れも大きく、安全をとつて前日から札幌に移動される方もおられるなど、それぞれ不安や困難をおしての参加もありました。時間の経過と共にしだいに明らかになってくる災害状況に被災者、被災地の主の見守りを祈る集いでもありました。



今年の修養会のテーマは「みことばとえほん」絵本が教える信仰生活」というもので、長い教会生活の中で各地の刑務所にて教誨師をしてこられた藤井八郎司祭様が講師をなさいました。

絵本は子どものためのものという思いがあつたのですが、お話を聞くうちに、それは大きな誤りであると気がつきました。絵本は世界中にあり、多くの作家が色々なジャンルの作品を生み出しています。そのどれをとつても作者の深い思いが込められています。一般的に絵本は短い平易な文章と親しみやすい絵で構成されています。それゆえに絵本作家は、言葉の選択、絵にその思いを凝縮させてゆきます。藤井司祭は今回の三つのセッションのために八冊の絵本を取り上げ、丁寧に読み聞かせ、それに関連する聖書の箇所を選びつつ解説を加えてお話されました。外国作家の絵本もいくつもありまし

た。それらの絵本の文と絵は日本の風土とは違う環境で生まれたものです、それを日本語に翻訳する方のご苦労も大変だろうと想像しました。藤井司祭はそれらをゆつくりと読み聞かせつつ私たちの心に届けてくださいました。絵本は、文と絵の作者、翻訳者の三人の合作であるともいえるでしょう。読者や朗読者は作者の深い思いを想像し、理解することになります。子どもには読み聞かせが最も良いとされます。読者は、作者の思いを無意識のうちに受け取つてゆくことになるでしょう。藤井司祭のメッセージをいくつか挙げてみると、「絵本は聖書同様、繰り返し読むことが大切」「読みながら(聴き



ながら)自分は何者なのかと考える」「人は誰でも神様から与えられた賜物を持つている」「自分が出来る事をすれば良いのだ」「祈りは全身全霊で捧げるものなのだ」「絵本を読むことは私しか知らない私だけの隠れ家を作る事」「皆がどう思おうとたいしたことではない。大切なことは私がどう思っているかだ。主がどう思うかだ。主が私をどれほど大切に思っているかを知ることだ」「皆、少しずつ違つてそれでいい」「相手の足りないところを補うという生き方が大切」「神が与えた友として、赦し、受容し、信頼することによつてお互いに成長する」その他多数ありますが、最後に参加者の皆様の感想をいくつかあげてみましょう。殆どの方が「素晴らしい修養会だった」と書いて下さいました。「心を養うことがキリスト教信仰に繋がるといふ事を強く感じた」「絵本の中にキリストがいる。施設の子どもたちや先生がたにも伝えてほしい」「神様はどんな人も等しく愛してくださいませ」「世界が少し広がった」「聖

堂で絵本を読んでもらうのは心地よかつた」「絵が見えなかつたのは残念」「絵本は人間の欠けに問いかける」「宣教チャンネルが一つ増えたと体感した」「二回目もあつていい」「皆が優しい顔になれた時間だった」「話が聞こえない」「修養会の開始時間をもっと早くしてほしい」「来年の修養会は魂の渴望への呼びかけ」など沢山の感想が寄せられました。七三名の参加者の豊かな交わりでした。



最期に主教様の講評として、「教役者が少なくなつていく状況の中、信徒一人ひとりの信仰が強められることが何より大切です」と話されました。講師の藤井司祭様に心より感謝いたします。

感謝 北海の光献金(敬称略)

教区宣教推進部主催

「平和と人権について考え祈る集い」に参加して

司祭 ヨハネ 池 田 亨

一〇月二十五日(金)午後六

時半より、札幌キリスト教会一階ホールを会場に、「個の確立とわたしたちの信仰」新天皇大嘗祭を前にして」というテーマで渡辺輝夫牧師(日本キリスト教会夕張伝道所)を講師にお招きし、学びと祈りの時をもちました。

参加者一八名でした。

すでに講演がDVD化され教区内各教会へ配布されています。

ここに記すことは、一参加者として印象に残った事柄、感想のメモ書きに過ぎません。言及することも講演の断片に過ぎません。おゆるし下さい。

渡辺牧師は実に信仰的の神学的に、かつ歴史的に語られます。



渡辺輝夫牧師

した。

まず『ハイデルベルク信仰問答・第一問』を引用し、ご自身の信仰の源泉・立場を明らかにされます。それは、宗教改革の伝統に立ちつつ、敬虔かつ成熟したキリスト者としての告白でした。

「生きている時も、死ぬ時も、あなたのただ一つの慰めは、なんですか。わたしが身も魂も、生きている時も、死ぬ時も、わたしのものではなく、わたしの真実なる救い主イエス・キリストのものであります。」そして「死んだあとも」と、渡辺牧師は信仰の言葉を加えたことが印象に残りました。

とりわけ、『バルメン宣言・第一項』を引用し、ご自身の信仰的立場を、なお鮮明にされました。

「聖書においてわれわれに証しされているイエス・キリストは、われわれが聞くべき、またわれわれが生と死におい

畑野寿子(兵庫県尼崎市)
飯田浩子(東京都豊島区)

て信頼し服従すべき神の唯一の御言葉である。」

それは、ナチズムの嵐のなか、ドイツ告白教会のナチズムへの抵抗と批判、信仰の告白です。悪魔的な力がドイツ国民を陶酔させ、良心を麻痺させてゆくなかで、神の垂直軸に立った信仰宣言です。

日本社会に生きるキリスト者として確かな羅針盤と垂直軸をもって生きているかと問われる思いがしました。

しかし、渡辺牧師は、自分のなかにも絶えず葛藤があり、矛盾と悩みをかかえていることを、弱さがあることを語りました。その真摯な姿勢から出る言葉は、聴く者に共感をあたえます。

渡辺牧師は、ご自身が仕える日本キリスト教会夕張伝道所の歴史を事例に語られました。そのルーツは一九〇一年に夕張聖公会として設立し、一九四一年の戦時下に「日本基督教團」いわゆるプロテスタント諸派が戦争協力のもと国策として合同した「教團」に加わり、戦後、聖公会へ復帰せず「教團」に留まり、そ

の後、長老派系教会である「日本基督教団」に加わった教会であると。

名称も「日本聖公会夕張聖公会」から「日本基督教團夕張鹿ノ谷教会」へ、そして「日本基督教団夕張教会(日本キリスト教会夕張伝道所)」に。一つの教会が三つの教派の時代を経ると云う、とてもユニークな歴史をもつ教会なのです。

礼拝堂は聖公会時代の一九三〇年ころの建築です。いまも現役です。現在、数名で主日礼拝をささげているそうです。「今回、日本キリスト教会の牧師である私が聖公会北海道教区の集會に招かれたのも不思議な導きをおぼえます」と渡辺牧師は語られました。

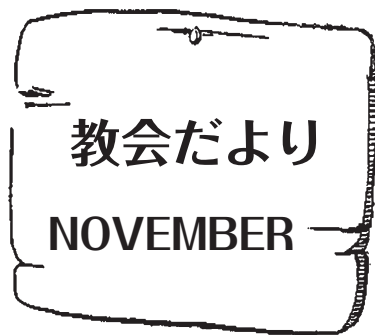
聖公会時代、その初期において教会は炭鉱労働者のための労働運動の拠点だったそうです。当時の聖公会伝道師小山恒次郎師が労働運動のリーダーとして尽力した歴史にふれられました。(一九〇五年〜六年ころ)。

しかし、日本基督教団時代の夕張鹿ノ谷教会の史料の複写を一枚、見せていただきました。そこには「戦勝祈願祈禱会」とあり、礼拝式次第には礼拝に先立って国民儀礼としての「宮城遙拝」が記されていました。すなわち、天皇に頭を下げてから、戦勝を願って礼拝をささげる、そして献金は戦争のために。

ここに、私たち日本のキリスト者の矛盾と葛藤、問題があることを指摘します。「公」としての天皇制、その枠を前提とした「私」としての信仰の問題性です。戦後の憲法下「象徴天皇制」においても尚、連続している二重構造を指摘されます。

確かに「元号」一つ取ってみても、その事柄を考える題材になります。神学的には「教会と国家」「キリストの主権」の問題に関わります。

渡辺牧師は教会にとって負の歴史と対峙しつつ、現代の象徴天皇制の持つ問題性と危険性を問いつつ、それを批判的に検証し、いまを生きる私たちの信仰の問題・課題として語るのです。



▽旭川聖マルコ教会

落ち葉が舞い散る季節となりました。九月二十九日マーガレット岡井亮子さん逝去、八八才やさしいお人柄でした。

一〇月一四日パウロ萩原慶男さん逝去、六九才、礼拝堂右側最前列が定席でした。一九日夜「池田千鶴子ハーブの夕べ」が行われ、礼拝堂がハーブの癒しの音色に満たされました。

二七日、収穫感謝礼拝と子ども祝福式が行われ、昼食後には恒例の捧げ物の競り市が行われ、大盛り上がりでした。二七日留萌、幌糠の小林さん宅訪問、教会の漬物用大根、白菜等、献品を頂き、マルコ食堂用の漬物作りが始まりました。

す。感謝。

▽岩見沢聖十字教会

一〇月は実りの秋。二〇日、収穫感謝礼拝。祭壇下に色とりどりの収穫物が捧げられる。二五日、幼稚園の収穫感謝祭。地域のお年寄りをお招きして、餅つきが行われる。今回は初の試みとして、近所に年長組と餅配り。「ありがとう。可愛いわねー」に園児もニッコリ。

三一日、秋季教役者会最終日。当教会で聖餐式。聖職者と園児との触れ合いの一時も。礼拝堂からは聖職者の力強いアカペラの賛美が園舎に響く。

二九日、畠山潔芽兄が勤務する札幌の(株)ドーコン本社ビルが火災。復旧と再建を祈る。

▽釧路聖パウロ教会

未曾有の爪痕を残した台風

被害。様々な祈りの中をすごされていらっしゃる方々に主の平安が豊かにありますように。

先月に続き教会懇談会を持ちました。前回のおさらいの後、では建築を具体化する方

法とそれを可能にするには等様々な情報や意見が集約されました。一三日、台風一九号が釧路沖を通過する中、札幌聖ミカエル教会から遠藤ご夫妻が訪問してくださいました。

午後から厚岸の教会へ、建立設計にご尽力くださったご夫妻を迎えるように晴れ間が広がりました。教区修養会には司祭、津田夫妻、前田博美さん参加。JR運休の為、バスを使用。そのまま司祭はトランプスト修道院へ、リトリートに。

二〇日、収穫感謝礼拝、捧げものに感謝。台風崩れの風雨の中、厚岸から佐田菊男さんが来釧。齢九〇歳を超えられても元気なお姿に信徒一同励まされました。

▽小樽聖公会

二二日(火)、礼拝委員会

主催「北海道風めぐり」が開催されました。午前中は教会・ベストーリー見学で、地域・教会の歴史と特徴のお話や、オルター奉仕者たちを中心にベ

ストーリー見学が行われました。昼食も教会で共にして楽

しい交わりのときに。午後は植木明美さん(弘前昇天教会)の演奏とお話によるリードオルガンコンサート。オルガンの歴史や小さな字びが織り込まれながら、オルガンの特徴をふまえた音色選択による演奏を楽しみました。三年前に大規模修復を終えたオルガンへの愛着が更に深められたように思います。

▽新冠聖フランシス教会

一〇月六日の主教巡回日は、姉妹教会である平取聖公会の宣教一四〇周年記念礼拝にあたり、合同礼拝ということでお招きを受けました。新冠からは九名の兄弟姉妹がそれぞれ車に分乗して参加しました。お隣りの教会とは言ってもなかなか訪問することが出来ず、ことに奥田貞子さんは酪農を営んでおられたので「平取の教会は初めてです」とのこと。その想いを短歌にしたためていただきました。

「バチラーの宣教聞きし平取の 小さな群れの輝くひつじ」 貞子

▽帯広聖公会

台風一九号、そして大雨の

影響で、関東・甲信越・東北の各地で被災された犠牲者、被災者の皆様に心から主の平安を祈り、お見舞い申し上げます。帯広・十勝地方では「収穫の秋」を迎え、農家の皆さんは昼夜を問わずトラクターを駆って畑仕事に取り組んでいます。幼稚園は、収穫感謝礼拝、汽車遠足、父母の会親睦会、日曜参観日、と行事が続く中、先生方は其々の仕事に一生懸命取り組んでいます。新年度の入園者募集も始まり、応募は順調とのこと、嬉しい限りです。一〇月二〇日、収穫感謝礼拝が行われ、例年の通り多くの捧げものが祭壇の前に並べられました。

一〇月二七日、「十勝フードバレーマラソン」の予定コースが教会の隣接道路となるため、主日礼拝を前日に行い、当日は「朝の礼拝」として行いました。教会は「十勝のお豆作業」そしてクリスマススの準備に取り掛かります。

▽網走聖ペテロ教会

紅葉は風からも守られきれいなすばらしい風景を人々に

見せてくれた。飯野司祭は主

見せてくれた。飯野司祭は主

に守られ、先月入院されてから一回目の術後の退院をされ暫くの間、「フアミリーホームのあ」の方で静養しつつ次の段階へとという予定です。本

当に主教さま始め皆様方にはご心配、お祈り頂き有り難うございます。完全復帰まで主のみ手が豊かに働かれる様お祈りしています。一五日紋別の阿部司祭ご夫妻が応援にかけつけて下さいました。大きなお声で会場が明るくなる感じで、あなたの信仰があなたを救ったと説教されました。主に感謝します。

▽札幌キリスト教会

一〇月六日、収穫感謝礼拝は、子ども達により秋の恵みが祭壇に捧げられ、一〇月の誕生会も開催。同日エリザベツ斎藤敦子さん、一〇日はヨセフ松井箴二さんの葬送式が行われ、ご生前教会を愛したお二人の霊の平安を祈る。一二日、神様の祝福を受け吉田聡佑さんと山崎すみれさんがご結婚。一三日・一四日は教区修養会、藤井司祭のみ言葉と絵本の読み聞かせに皆感動。二六日、パイプオルガン

修復完了記念コンサートはオーガニストの演奏とゴスペルの歌声が一五〇人の聴衆を魅了し終了。

▽札幌聖ミカエル教会

今年、日曜学校は長沼町に水田を借り、春には四〇人以上の子どもたちが田植え、そして一〇月六日には稲刈りを行う。二〇日には収穫勤労感謝礼拝を行い、子どもたちが収穫した実った稲も献げられました。七日夜、エンジェルHIROBAにて大友宣さんより終末期医療についての話を聞き、懇談する。二一日、礼拝と奏楽の学びとして「北海道 風めぐり」が当教会を会場に行われ、昼間はベスTREE訪問と歓談、夜はオルガンの解説と演奏に耳を傾ける。二六日、幼稚園の生活発表会。先生たちのアイディア、舞台デザインを子どもたちが見事に表現、感動的でした。

▽新札幌聖ニコラス教会

六日、み言葉の礼拝。一三日、お元気になられた横山司祭による聖餐式に感謝。二〇日、札幌キリスト教会での聖婚式を準備中の雨宮洋子姉の

一回目の結婚の予告を聞く。教会委員会では一二月の新イベント「リードオルガンの演奏と読み聞かせ」に期待。

二七日、聖ニコラス教会に係る六七名の逝去者を覚えた聖餐式を終えた温かい日差しの午後、紅葉に彩られた円山の共同墓地前に九名が集い逝去者記念の祈りを捧げる。また、帰路では雨宮寿子姉のお招きにて家庭集會を過ごす。

▽聖マーガレット教会

二六日子どもハロウインを開催。近隣の子どもとその父母計二三名と教員あわせて三〇名が集まりました。大人も子どもと一緒に衣装を選んで互いに写真を撮りあつたりして仮装を楽しみました。礼拝堂でお祈り後、教会を出発し、近隣を約一時間かけて練り歩き、途中六軒のご家庭からお菓子をもらいました。

二七日、収穫感謝礼拝をお捧げ致しました。礼拝で献じた収穫物は会衆が買い求め、その収益金は、外部団体に献金する予定です。

▽稚内聖公会

とうとう初雪の稚内。一〇

月一九日は教区主教の巡回日。礼拝の出席者は、本原満栄さんと植松主教さまご夫妻の三人であったが、大きな恵みをいただく。礼拝後は、歓談のひと時。心温まる一日であった。遠路のご巡回に心から感謝。一月は七日に聖餐式、そしてクリスマスは、旭川から「稚内クリスマス・キャラバン」を迎えて、本当に久しぶりにクリスマス当日にクリスマス礼拝を行う。そろそろ水を落とさなければならぬ季節。どうぞみなさんお元気で！

▽函館聖ヨハネ教会

二一日は、「聖堂コンサート」今年三回目は、函館男声合唱団の皆さまをお迎えして、聖堂に響き渡る美声を聞かせて頂きました。曲ごとに解説して頂き、より一層味わい深く聞き入り、最後は「この街で」のレッスン後皆で大合唱、充実感で満たされたコンサートでした。

二五日、墓地清掃。その後の主日は、気持ちの良い逝去者記念墓参の祈りが出来、感謝。

函館山も近隣の山々も数年振りに、紅葉が美しいので雪虫大発生。函館地方です。

司祭は、函館少年刑務所の教誨師奉仕や札幌往復で多忙。体調崩さないよう祈ります。

▽平取聖公会

昨年九月の北海道胆振東部地震から一年が過ぎました。まだ仮設住宅住まいの方が多く居られ、復旧は道半ばというところでしょうか。お見舞い申し上げます。

ところで、この地震で各地で墓石が倒壊する等の被害が多くありました。平取町でも多くの被害がありました。お墓を修復せず「墓じまい」して他に納骨堂を求めた方もありました。新冠聖フランシス教会には礼拝堂地下に納骨堂がありますが、平取聖公会にはありません。町としても共同墓地が課題です。

▽紋別聖マリヤ教会

一〇月に入り、比較的暖かい日が続く農作物の収穫も終盤を迎えております。一〇月六日、聖餐式終了後

に定例教会委員会が行われ、入院中の飯野司祭に代わって網走聖ペテロ教会にて聖餐式司式を二〇日に行うこと、今後の三教会の在り方を協議されました。

二〇日、植松主教司式のもと聖餐式(収穫感謝礼拝)。収穫の恵みに溢れたものになりました。阿部司祭は、予定通り網走聖ペテロ教会聖餐式司式に派遣されました。
▽室蘭聖マタイ教会

秋も深まり、段々と冬に向けての準備が始まりました。一〇月五日、会計担当者会議に山本侑男兄が出席して下さいました。六日、二三日、二〇日、藤井兄によるみ言葉の礼拝。吉野司祭が送って下さるお説教に一同感謝しています。

二七日、出張から帰って来た吉野司祭による収穫感謝礼拝が行われました。白菜、大根、りんご、じゃがいも、さつまいも、かぼちゃ他お菓子も並びました。この日は「神様の前で私たちの信仰の原点に立ち返りましょう」というお話でした。

台風で大変な試練に会っている方々にも祈りを捧げます。

▽留萌キリスト教会
一〇月二三日、池田聖司さんの逝去一ヶ月の記念式を行いました。毎日お父さんのためにコーヒーを淹れる久子さん、これからも元気に過ごされますように。

二七日、収穫感謝礼拝が、植松主教様の巡回に合わせて行われました。沢山の野菜が並べられた祭壇に向かって、神様が下さるお恵みに感謝しました。近藤泉さんは、結婚相手と共に同日午前に行われた深川の収穫感謝礼拝に出席されたそうです。主様がたいそうお喜びでした。ご結婚おめでとうございます。

▽北見聖ヤコブ教会
一九日間の禁食の後五時間の手術を受けた司祭は一〇月二六日に退院し自宅にて療養中。少しずつ回復している。
司祭の緊急入院のため空地の草刈りが出来ず、シルバークの方々にやっていただく。またやはり司祭不在の関係で、牧師館の玄関の郵便入れには

入らない大きさのものもあるため、教会玄関に郵便受けを設置した。

司祭の入院中、週報は司祭の家族が大まかに打ち、届ける形を取っていたが、これからは司祭自身が週報だけは打てる。感謝。

▽有珠聖公会
一〇月二七日、収穫感謝礼拝。聖堂は、秋の実りによって美しく飾られました。礼拝後のお茶の時間は、今年で第七回目となり、地域の皆さんが楽しみにして下さっているクリスマスコンサート準備について熱心に話し合いました。

今年のプログラムは、札幌よりS・クラリネット・クワイヤー札幌の皆さんをお招きします。全国的にも珍しいクラリネットによる合奏団です。開催は、一二月二一日(土)の午後二時からです。皆様も是非一度、お越しください。

▽苫小牧聖ルカ教会
この時期、例年になく暖かく、街路樹の紅葉もきれいです。各地で繰り返される予想を上回る大きな災害で多くの犠牲者が出て、生活の場を失った人々の悲しみは、計り知れません。一日も早く復興されますように。一二日、牧師はMTSの特別礼拝のため横浜、二四日より韓国へ出張。二〇日、収穫感謝礼拝、豊かな恵みの糧を神様に感謝して分かち合いました。二一日、一八日は幼稚園のスケート教室が行われました。とても楽しそうに滑っていました。二七日はマーメイド作りをしました。

の犠牲者が出て、生活の場を失った人々の悲しみは、計り知れません。一日も早く復興されますように。一二日、牧師はMTSの特別礼拝のため横浜、二四日より韓国へ出張。二〇日、収穫感謝礼拝、豊かな恵みの糧を神様に感謝して分かち合いました。二一日、一八日は幼稚園のスケート教室が行われました。とても楽しそうに滑っていました。二七日はマーメイド作りをしました。

▽今金インマヌエル教会
一〇月は一三日と二七日に主日礼拝を守ることが出来ました。一〇月一〇日には、教会の前面のペンキ塗り、風化して見えなかった今金インマヌエル教会の看板を塗りなおしてキレイに見やすくなりました。そして今年も、天沼彰範夫妻が作って下さったお化けカボチャを、山崎三三子さんも加わってハロウィンデコレーションした表情豊かな一二体が教会の周りを彩ってくれています。一一月の収穫感謝礼拝では、植松主教ご夫妻を信徒一同カボチャと共に

にニコヤカにお迎えするのが楽しみです。
▽深川聖三一教会
一〇月二日教会で深川あけぼの保育園の収穫感謝礼拝がある。六日教会委員会、教会報作業を委員の手で行う。一五日保育園職員会議、主任からカミナリの避難対応の指導がある。二〇日信徒活動として長沼町信徒を訪問、仲野勇二氏の東屋で野外礼拝をする。仲野勇二、仲野道一両家から収穫感謝祭のりんごが捧げられる、感謝。二七日主教様をお迎えし収穫感謝礼拝、保育園の先生方、留萌から新婚の田中健太、近藤泉夫妻出席、主教様は人はみな神様に捧げられた尊い存在と語られる。

夫妻を信徒一同カボチャと共に

